

大学図書館とMOOC

第15回図書館総合展フォーラム

平成25年10月30日(水)

逸村裕

筑波大学 図書館情報メディア系

知的コミュニティ基盤研究センター

大学図書館は
学修教育に何をやる？

従来の大学図書館の教育学修支援

閲覧室提供

資料提供

レファレンスサービス

図書館利用者教育/情報リテラシー教育

パスファインダー

指定図書

ラーニングコモンズ

授業の直接支援？

多様化した大学と学生

そこにMOOC

MOOC: Massive Open Online Course

一科目18万人/全体で900万人登録も

コース使用料取る

履修管理する

単位修得者/履修登録者

グローバル化(中国から4万人が履修)

OCW(Open CourseWare)との違い

学術コミュニケーションの動向2013でのMOOC

学術コミュニケーションのオープン化を背景に

現代の高等教育

米国型学生消費者主義

大学工場モデル

学術コミュニケーションのオープン化を背景に

現代の高等教育

米国型学生消費者主義

大学工場モデル

授業料高騰

大学生数の増加と卒業生の質の低下

大学を変容させる

従来型講義形式/教室の消滅

Blended learning, Flipped Classroomは残る

キャンパスの消滅

カリキュラム不要

学位と言う「包括保証」無意味化

大学のグローバル化

人の移動

情報の移動

学術は本来グローバル

高等教育機能のアンバンドリング

人

場所

金

知識

放送大学

JMOOCって？

まとめ 大学図書館とMOOC

学修教育への関係

教育コンテンツは重要

MOOC(的なもの)は迫っている

大学のあり方が問われている

ビジネスモデルをどうするか

そこに図書館がどうコミットできるか

信頼関係